

安全の為に必ずお守りください

警告

●自転車のブレーキは、製品のモデルによって取扱いが多少異なることがあります。したがって、ブレーキレバーへの入力や自転車の操作特性などを含め、個々の自転車のブレーキ系統の適切な操作を充分理解し慣れるようにしてください。ブレーキ系統の操作が適切でないと、自転車のコントロールを失い事故のもとになり、また大怪我を招くとも限りません。適切な操作については、自転車専門店にご相談いただき、また自転車の取扱い説明書もよくお読みください。ご自分の自転車にお乗りになって、ブレーキ操作などを練習していただくことも大切です。

●SL-3S70、SL-3S55、SL-3S30との組合せでは、使用しないでください。もし、この組合せで使用した場合、強くペダルを踏んでいる時に変速レバー操作をすると、足がついていらずペダルから足を踏みはずして、転倒事故につながる可能性があります。

●ブレーキアームをフレームに固定するときは、チェーンステーのサイズに合ったアームクリップをクリップボルトとクリップナットで指定の締付トルクでしっかりと締付けてください。クリップナットは、ナイロンインサートロックナット（緩み止めナット）を使用してください。クリップボルト、クリップナット及びアームクリップはシマノ製をお勧めします。なおアームクリップは、チェーンステーに合ったものをご使用ください。ブレーキアームのクリップナットが外れたり、クリップボルトまたはアームクリップが破損すると、ブレーキアームが回転し突然ハンドルがとられたり、車輪がロックして転倒し大怪我をすることがあります。

●製品を取付ける時は、必ず取扱い説明書等に示している指示を守ってください。またその際、シマノ純正部品の使用をお勧めします。ボルトまたはナット等が緩んだり、製品が破損すると、突然に転倒して怪我をすることがあります。

●乗車前に車輪が固定されていることを確認してください。転倒して大怪我をすることがあります。

●乗る前には必ず前後のブレーキが正しく作動するかどうか確認してください。

●路面がぬれていると、タイヤがスリップしやすくなります。タイヤがスリップすると転倒して危険ですので、スピードを控えて、早めの滑らかなブレーキ操作をしてください。

●取扱い説明書はよくお読みになった後、大切に保管してください。

注意

1. ベルクランク部分には、絶対に足をかけないでください。変速不良の原因となります。

2. シマノインターMブレーキシステムは、マウンテンバイクには使用できません。また他の車種におきましても、長い下り坂でブレーキを連続して使用されると、ブレーキ内部が高温になりブレーキの効きが弱くなったり、内部のグリスがなくなりブレーキの効きが急に強くなる等の異常が発生する場合があります。シマノインターMブレーキシステムは、ISO(4210)DIN(79100-2)等の規格を基本に設計しています。それらの規格は、総重量が100kgでの性能をうたっています。総重量が100kgを超える場合には、ブレーキ力不足・耐久性不足等の不具合が生じることもありますので、そのことを考慮してご使用ください。

3. 使用中、次のことが発生した場合には、即刻使用を中止し、販売店で点検・修理をしてください。

- 1) ブレーキをかけたとき、音鳴りがした場合
- 2) ブレーキの効きが異常に強すぎる場合
- 3) ブレーキの効きが異常に弱すぎる場合

1)と2)の場合は、ブレーキグリスの不足が考えられますので、販売店でローラーブレーキ専用グリスを補給してください。

4. ブレーキアームが、アームクリップでチェーンステーにしっかりと固定されていることを確認してください。取付け不良は、ブレーキ性能が悪くなります。

5. シマノインターMブレーキの性能を最大限に発揮させるため、必ずシマノブレーキケーブルとブレーキレバーをセットでご使用ください。

（ブレーキレバーを握ったときのインナーケーブルの引き代は14.5mm以上必要です。14.5mm未満の場合は、ブレーキ性能が悪くなり、ブレーキが効かなくなることがあります。）

6. ブレーキをひんばんに使用した場合、ブレーキ部周辺が高温になる場合があります。走行後しばらく(30分位)は、ブレーキ部周辺に手をふれないよう注意してください。

7. ブレーキケーブルがさびると、ブレーキの効が悪くなります。効が悪くなった時は、新しいシマノ純正ブレーキケーブルと交換し、再度ブレーキの効きを確認してください。

8. BR-IM31-R/BR-IM35-RFのブレーキユニットは分解できません。分解するとトラブルや故障の原因になります。

9. ローラークラッチ部に、グリスを塗布しないでください。グリスを塗りすぎると、駆動スリップする恐れがあります。

使用上の注意:

●ペダルを踏みながら変速ができますが、変速したあとで確実な変速動作のため、ハブ内部の爪とラチェットの間でまれに音が発生する場合があります。

●インターMブレーキは、従来のバンドブレーキと異なり、ドラム内部にグリスが封入されているため、タイヤ回転がわずかに重たくなっています。(特に冬期)

●車輪の回転が重たくなった場合はグリスアップをおこなってください。

●ハブの内には注油はおこなわないでください。グリスが流れ出します。

●ギアは定期的中性洗剤で洗浄し注油してください。また、チェーンの中性洗剤での洗浄及び注油も、ギア及びチェーンの寿命を伸ばすのに効果があります。

●チェーン飛びが発生するようになった場合はギアとチェーンを交換してください。

●通常の使用において自然に生じた摩耗および品質の劣化は保証いたしません。

●取扱い方法または調整方法について疑問のある方は、購入された販売店にご相談ください。

SI-3S40K-001

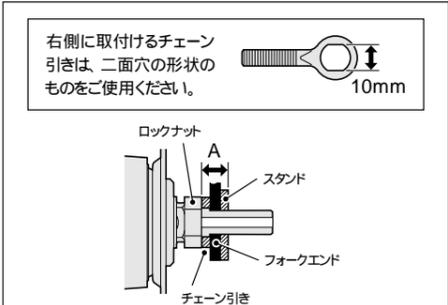
SG-3S40	インター3ハブ
SG-3S42	
SG-3R40	
SG-3R42	
SG-3R45	リアハブ
SG-3R55	
RH-IM10	ベルクランク
SM-3S40	
BR-IM31-R	
BR-IM35-RF	インターMブレーキ

ご使用方法

インター3用シフティングレバーに添付されている取扱い説明書も合わせてよくお読みください。

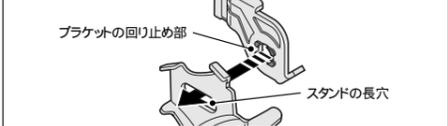
ベルクランクの取付け

1. ハブ本体をフレームにセットした後、下図の順に組み込み、ハブナットで固定します。



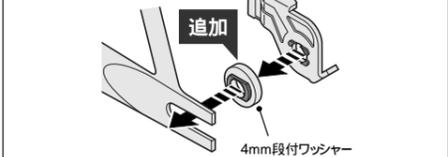
A寸法が5.5 ~ 10.5mmの場合

スタンドの長穴またはフォークエンドに、ブラケットの回り止め部を確実にはめ込んでください。



A寸法が5.5mm未満の場合

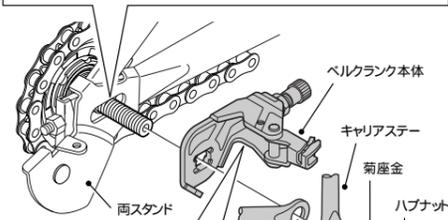
フォークエンドに4mm段付ワッシャーの凸部をはめ込み凹部にブラケットの回り止め部を確実にはめ込んでください。



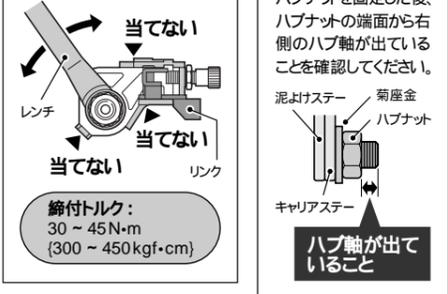
ご注意:
ベルト車はフレームの継ぎ手のネジ部に、ベルクランクが接触していないことを確認してください。もし接触している場合は、4mm段付ワッシャーを入れてください。

A寸法が10.6mm以上の場合

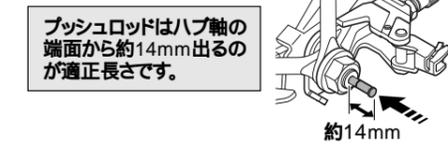
軸長191.8mm仕様のハブをご使用ください。



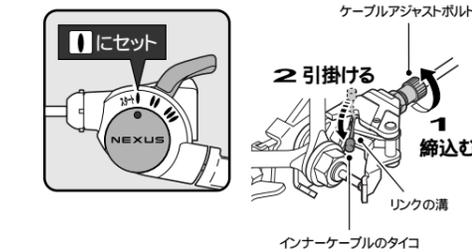
ハブナットを固定するときは、リンクを手前に引き起します。ブラケットをレンチなどで変形させないように注意してください。



2. ハブ軸にプッシュロッドを差し込みます。



3. レバーを①の位置にセットします。次にベルクランク本体のケーブルアジャストボルトを締込んだ状態で、インナーケーブルをケーブルアジャストボルトに通し、インナーケーブルのタイコをリンクの溝に引掛けます。

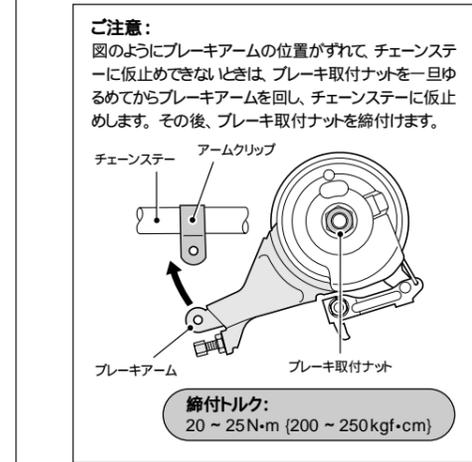


SM-3S40ベルクランクの調整については、シフティングレバーに添付されている取扱い説明書をお読みください。

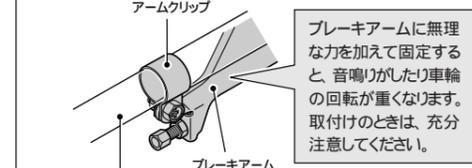
BR-IM31-R / BR-IM35-RF(インターMブレーキ仕様)の場合

インターMブレーキの取付け

1. ハブ本体をフレームにセットした後、インターMブレーキのブレーキアームを、アームクリップでチェーンステーに取付け、クリップボルトとクリップナットを軽く締めて仮止めします。その後、ブレーキ取付ナットを締付けます。



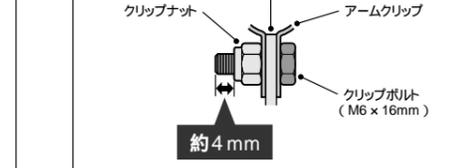
2. ハブ本体をフレームにハブナットで固定した後、インターMブレーキのブレーキアームを、チェーンステーにアームクリップで確実に固定します。



ご注意:
アームクリップを取付けるときは、クリップナットを10mmスパナで固定し、クリップボルトを確実に締付けてください。

締付トルク:
2 ~ 3N・m (20 ~ 30kgf・cm)

アームクリップを取付けた後、クリップボルトがクリップナットの端面から約4mm出ていることを確認してください。



回り止めワッシャーの取付け

回り止めワッシャーの取付け位置と突起部の方向に注意し、回り止めワッシャーを図のようにハブ軸の左側に取付け、左ハブナットで固定します。

ご注意:

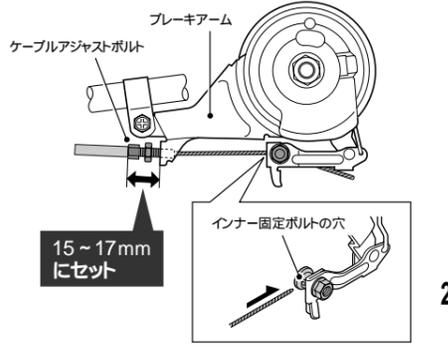
- 突起部をフォークエンド側にセットします。
- 突起部がフォークエンドの溝に確実に入るように、ハブ軸の前側または後側に入れます。
- スタンドをハブ軸に取付ける場合は、スタンドの外側から回り止めワッシャーを取付け、突起部がスタンドの溝に入るようにセットします。
- 泥よけステー等をハブ軸に取付ける場合は、回り止めワッシャーの外側に取付けます。

この取扱い説明書は、ご購入された自転車に装着されているシマノ製自転車部品の取扱い方法を説明しています。ご購入された自転車及びシマノ製自転車部品以外に関するご質問は、ご購入先または自転車製造元へのお問い合わせをおすすめいたします。

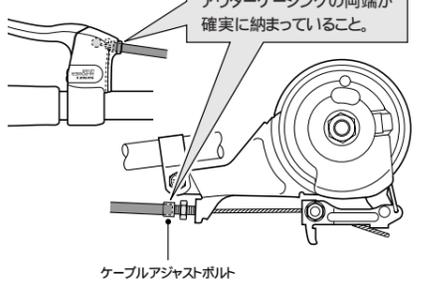
BR-IM31-R / BR-IM35-RF(インターMブレーキ仕様)の場合

ブレーキケーブルの取付け

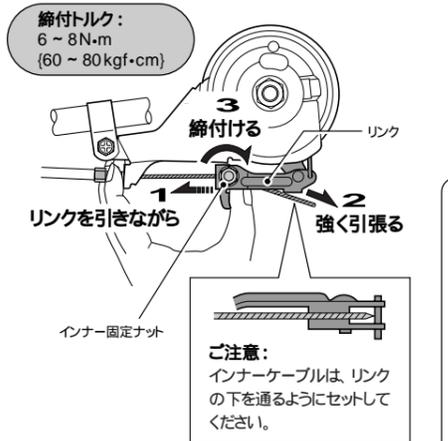
1. ケーブルアジャストボルトをブレーキアームの端面から15 ~ 17mmの位置にセットし、インナーケーブルをケーブルアジャストボルトの穴から、インナー固定ボルトの穴に通します。



2. アウターケーシングの両端が、ブレーキレバー側とブレーキアーム側のケーブルアジャストボルトに確実に納まっていることを確認します。

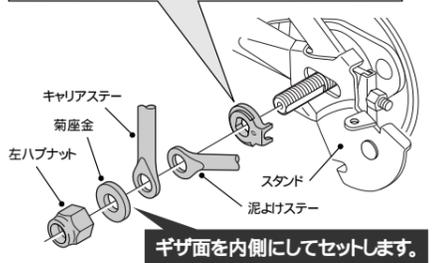


3. リンクを当りまで引き、インナーケーブルを1つに引張った状態で、インナー固定ナットを締付けます。



ご注意:
インナーケーブルは、リンクの下を通るようにセットしてください。

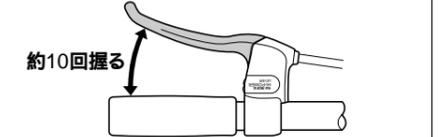
回り止めワッシャー			
対応ハブ	厚み	カラー	刻印
SG-3RB2	6mm	イエロー	5R
SG-3RB2以外のハブ	4mm	ブラック	0



締付トルク:
30 ~ 45 N・m (300 ~ 450 kgf・cm)

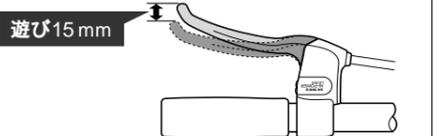
ブレーキケーブルの調整方法

1. ケーブルが張り過ぎで、車輪の回転が重くなっていることを確認したあと、ブレーキレバーをクリップに付くまで、約10回ほど握り、ケーブルをなじませます。

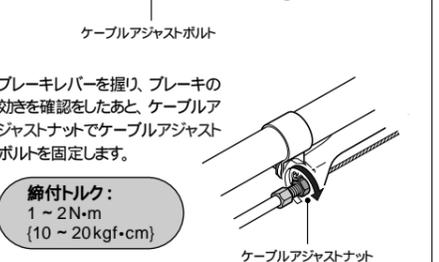


ご注意:
ケーブルがなじんでいないと、短時間で再度ブレーキの調整が必要になります。

2. ケーブルアジャストボルトを回して、ブレーキレバーの遊びが15mmになるように調整します。(ブレーキレバーの遊びとは、レバーを操作していない状態から、レバーを少し引いていくと、急に重くなる所までの引き代のことです。)



3. ブレーキレバーを握り、ブレーキの効きを確認したあと、ケーブルアジャストボルトでケーブルアジャストボルトを固定します。



この取扱い説明書は、ご購入された自転車に装着されているシマノ製自転車部品の取扱い方法を説明しています。ご購入された自転車及びシマノ製自転車部品以外に関するご質問は、ご購入先または自転車製造元へのお問い合わせをおすすめいたします。